



物価高対策などの 2月補正予算案を可決

神奈川県議会は2月12日に開会した第1回定例会において、2025年度の2月補正予算案を可決しました。

この補正予算には、物価高騰対策や医療・介護・障害福祉分野への支援が盛り込まれています。

紙のプレミアム商品券の支援を追加

物価高騰対策として、キャッシュレス決済時のポイント還元に加えて、商店街が行う紙のプレミアム商品券の発行に対して補助を行います。

昨年12月の補正予算には、物価高対策の生活者支援としてキャッシュレスのポイント還元が盛り込まれていました。その際、私は「キャッシュレスだけの対応では、スマートフォンを使えない方々は対象とならないので、他の方法も追加すべき」と要望しており、その要望がカタチとなりました。



中小企業者等の賃上げを支援



県内の中小企業者等の賃上げを支援するため、最低賃金の引き上げを待たずに一定額以上の賃上げを行う事業者を支援します。

加えて、障害福祉施設や児童養護施設、保育所等への支援として、食材料費等に対して支援を行います。

神奈川県の2026年度当初予算案

補正予算案に合わせて、県は2026年度当初予算案を提案しました。

一般会計は前年度に比べて7.2%増えて、2兆3759億円となり、過去最大となっています。重点政策としては、私立高校授業料の実質無償化や宇宙関連産業の振興、子育て支援や県内経済活性化などが盛り込まれています。

詳細は、QRコードからご覧ください

